

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第98号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成21年12月1日 21時00分ごろ	
発生場所	沖縄県石垣市石垣港南方沖 石垣港登野城第2防波堤灯台から真方位182° 2.4海里付近 (概位 北緯24° 17.5′ 東経124° 09.7′)	
事故等調査の経過	平成21年12月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 菊丸、0.3トン	
船舶番号、船舶所有者等	ON3-480099（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	航海計器濡れ損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、約3ノットの速力で漁場移動中、平成21年12月1日21時00分ごろ、石垣港南方沖で磯波を受けて浸水し、水船となった。 船長は、海上保安庁のヘリコプターに救助された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約5m/秒、視界 良好 海象：うねり 約1m、波高 不明、下げ潮の中央期	
その他の事項	本船の喫水は、船首約0.2m、船尾約0.6mであった。 船長は、磯波が立つことを知っていたものと考えられる。 船長は、救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、石垣港南方沖において漁場移動中、船位の確認を行わずに磯波が発生しているリーフ海域に進入し、磯波を受けて浸水した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、石垣港南方沖において漁場移動中、船位の確認を行わなかったため、磯波が発生しているリーフ海域に進入し、磯波を受けて浸水したことにより発生した可能性があると考えられる。	